

# 公衆衛生若手医師・医学生 サマーセミナー(PHSS)について

PHSS2018 運営委員長  
宮崎市保健所 西田 敏秀

---

## PHSSの開催

- 「公衆衛生に係る人材の確保・育成に関する研究班」の実践事業として、平成24年度より実施。今年度で7回目の開催となった。
- セミナーの広報・内容・進め方等、「公衆衛生医師の確保と育成に関する委員会」委員や上記研究班員で企画・検討・実施している。

平成30年度 地域保健総合推進事業 全国保健所長会協力事業  
「公衆衛生医師の確保と育成に関する調査および実践事業」

【分担事業者】

廣瀬 浩美 愛媛県宇和島保健所

【事業協力者】

山本 長史 北海道岩見沢(兼)滝川保健所

下川 寛子 仙台市保健所

早川 貴裕 栃木県南健康福祉センター

渡部 裕之 千代田区千代田保健所

高橋 愛貴 新宿区保健所

谷掛 千里 大阪府茨木保健所

白井 千香 枚方市保健所

藤川 愛 高松市保健所

宗 陽子 長崎県南(兼)上五島保健所

内田 勝彦 大分県東部保健所(全国保健所長会・学術)

永井 仁美 大阪府富田林保健所(全国保健所長会・学術)

山本 光昭 兵庫県健康福祉部(社会医学系専門医協会・理事)

尾島 俊之 浜松医科大学(社会医学系専門医協会・理事)

【助言者】

風間 信之 厚生労働省健康局健康課地域保健室長

中村 洋心 厚生労働省健康局健康課

曾根 智史 国立保健医療科学院

宇田 英典 社会医学系専門医協会・理事長(鹿児島県伊集院保健所)

山中 朋子 全国保健所長会・会長(青森県弘前保健所)

宮崎 親 全国保健所長会・副会長(福岡県北筑後保健所)

村松 司 北海道網走保健所

武智 浩之 群馬県館林(兼)桐生保健所

清古 愛弓 葛飾区保健所

高橋 千香 大田区保健所

古川 大祐 愛知県新城保健所

宮園 将哉 大阪府寝屋川保健所

中嶋 裕 山口県周南環境保健所

木村 竜太 福岡県田川保健福祉事務所

西田 敏秀 宮崎市保健所



## PHSSの目的

- 講義やグループワーク等を行うことにより、公衆衛生分野に従事していない医師や医学生に公衆衛生に関する関心を持ってもらう。
- 入職後の若手公衆衛生医師に対しても、職場における研修(OJT)や保健医療科学院等とは異なるカリキュラムによる研修や意見交換、交流会等を通じ、全国的なネットワーク構築のきっかけに活用する。

## 昨年度までに取り上げた主なテーマ

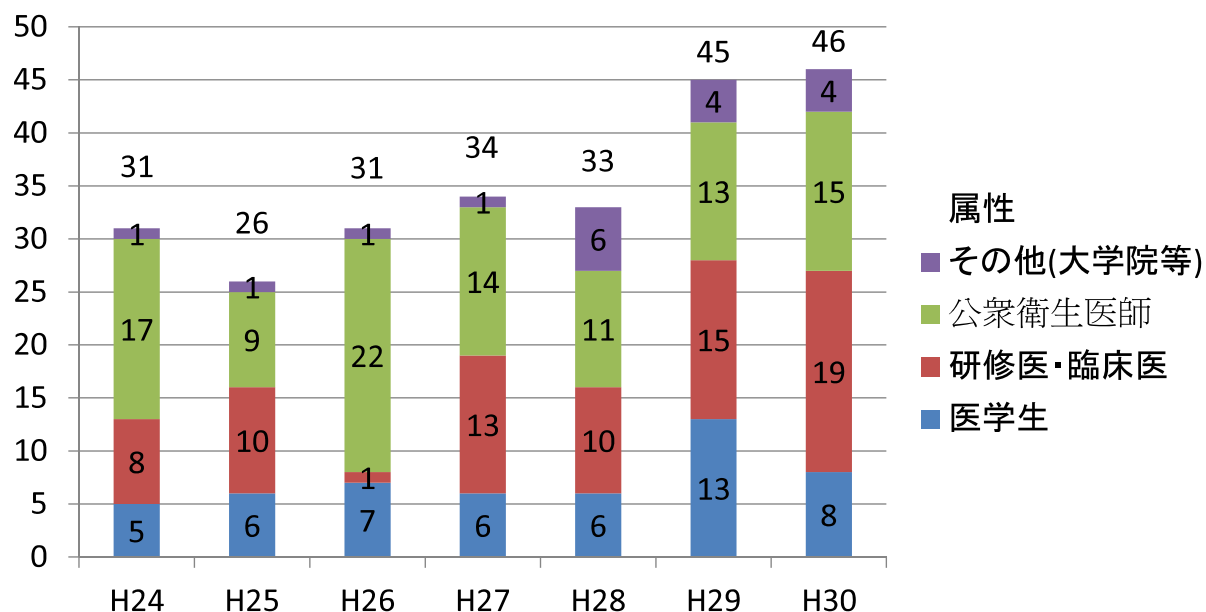
- 平成24年度  
新型インフルエンザ、東日本大震災、公共経営と保健医療、キャリアパス
  - 平成25年度  
食中毒(浅漬け)、原発事故、風疹、在宅医療・介護連携、公衆衛生の役割
  - 平成26年度  
集団感染症事例(hMPV、結核)
- 

## 昨年度までに取り上げた主なテーマ

- 平成27年度  
食中毒(ユツケ)、御嶽山噴火、精神保健(地域移行)
- 平成28年度  
結核、がん疫学、熊本地震
- 平成29年度  
ノロウイルス、社会医学系専門医、HIV

※赤字はグループワークテーマ

## 受講生の推移(内訳)



## PHSS 2018の概要

- 会場を駅近くの貸会議場から都市センターホテルに変更(定員30名から40名へ増)
- ホテル会場へ変更したことにより、意見交換会会場への移動時間を短縮  
(コミュニケーションの時間を確保)
- 受講前アンケートから受講者のニーズを拾い上げ、講義内容に反映

公衆衛生 若手医師・医学生 サマーセミナー2018 プログラム

| 8月25日(土)             |         |                            |                          |
|----------------------|---------|----------------------------|--------------------------|
| 13:00~13:05<br>(5分)  | 開会挨拶    |                            | 愛媛県宇和島保健所<br>所長 廣瀬浩美先生   |
| 13:05~13:10<br>(5分)  | 主催者挨拶   |                            | 全国保健所長会<br>副会長 高橋郁美先生    |
| 13:10~13:15<br>(5分)  | 運営協力者紹介 |                            | 宮崎市保健所<br>所長 西田敏秀        |
| 13:15~13:40<br>(25分) | アイスブレイク | 自己紹介など                     |                          |
| 13:40~14:20<br>(40分) | 講義      | 保健所医師として勤務する魅力             | 社会医学系専門医協会<br>理事長 宇田英典先生 |
| 14:20~14:25          | 休憩      |                            |                          |
| 14:25~15:55<br>(90分) | ケーススタディ | 感染症事例                      | 北海道網走保健所<br>所長 村松 司先生    |
| 15:55~16:05          | 休憩      |                            |                          |
| 16:05~16:50<br>(45分) | 講義      | 公衆衛生分野の人材育成                | 国立保健医療科学院<br>次長 曾根智史先生   |
| 16:50~16:55          | 休憩      |                            |                          |
| 16:55~17:25<br>(30分) | 講義      | 社会医学系専門医と<br>公衆衛生医師のキャリアパス | 大阪府寝屋川保健所<br>所長 宮園将哉先生   |
| 17:25~17:40<br>(15分) | 講義      | 専攻医からのメッセージ                | 福岡県田川保健福祉事務所<br>木村竜太先生   |
| 17:40~18:00<br>(20分) | ふりかえり   |                            | 宮崎市保健所<br>所長 西田敏秀        |
| 18:00~18:20          | (個別相談会) | (閉会后)                      |                          |

初日のプログラム

- ・導入(アイスブレイク)
- ・公衆衛生医師の魅力
- ・感染症ケーススタディ(麻しん)
- ・公衆衛生人材育成
- ・キャリアパス
- ・**専攻医のメッセージ**
- ・**個別相談会**

本年度より  
開始した取り組み

- ・初日終了後意見交換会

| 8月26日(日)             |         |                                 |                                |
|----------------------|---------|---------------------------------|--------------------------------|
| 9:00~9:45<br>(45分)   | 講義      | 厚生労働省から保健所医師への期待<br>~保健所医師の重要性~ | 厚生労働省健康局健康課<br>地域保健室 中村洋心先生    |
| 9:45~9:50            | 休憩      |                                 |                                |
| 9:50~11:20<br>(90分)  | グループワーク | 精神保健関連事例                        | 大阪府茨木保健所<br>所長 谷掛千里先生          |
| 11:20~11:30          | 休憩      |                                 |                                |
| 11:30~12:15<br>(45分) | 講義      | 実際の保健所医師の仕事風景                   | 東京都大田区 高橋千善先生<br>高松市保健所 藤川 愛先生 |
| 12:15~12:45<br>(30分) | ふりかえり   |                                 | 宮崎市保健所<br>所長 西田敏秀              |
| 12:45~13:00          | 閉会・事務連絡 | アンケートなど                         | 運営委員                           |
| 13:00~13:30          | (個別相談会) | (閉会后)                           |                                |

2日目のプログラム

- ・厚生労働省から
- ・精神保健GW
- ・保健所医師の仕事
- ・ふりかえり
- ・**個別相談会**

プログラム間の小休憩を増やし、コミュニケーション機会を増加させた

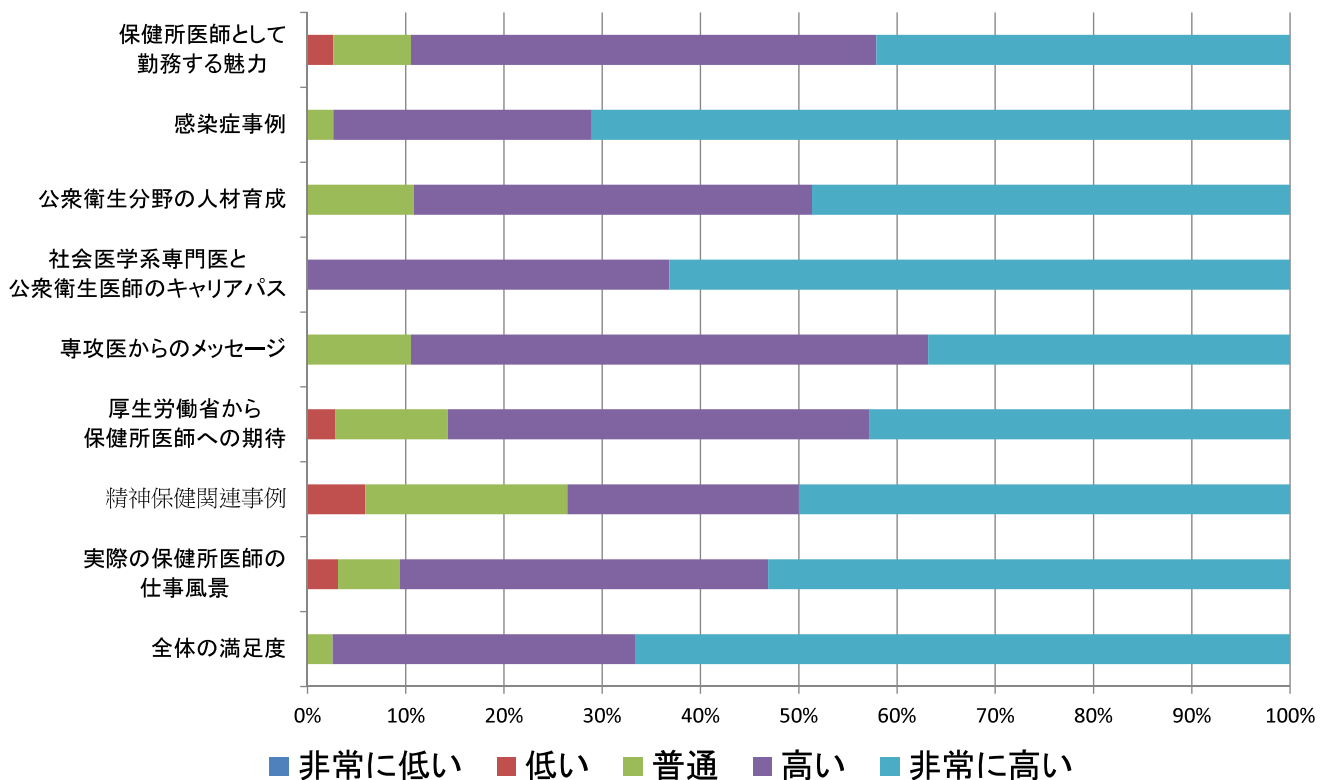


講義風景

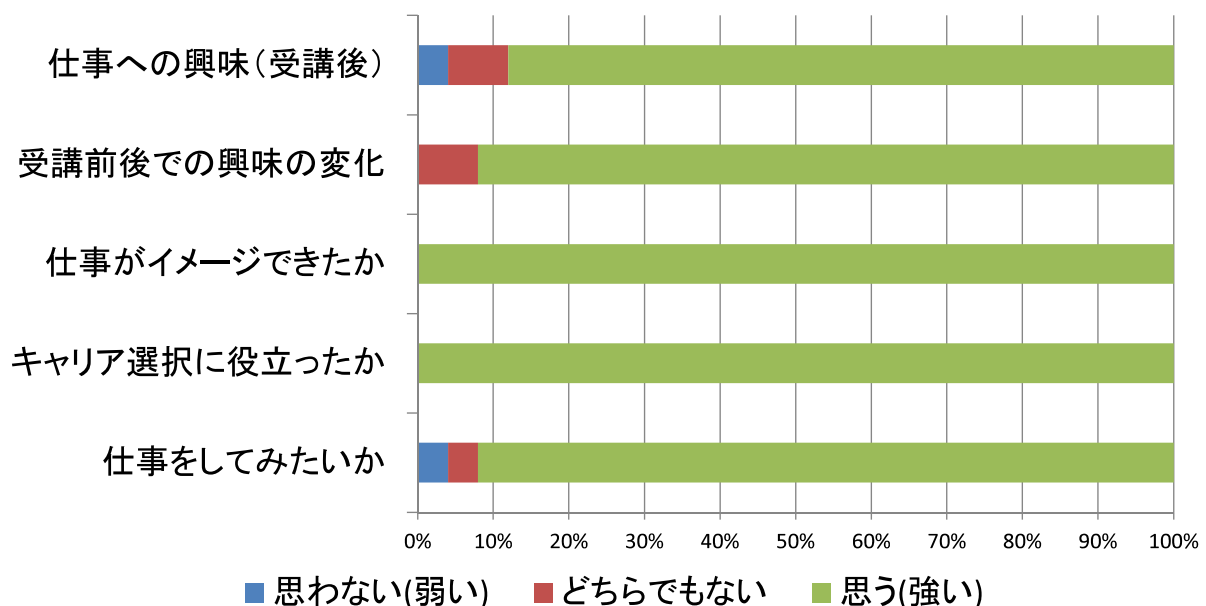


グループワーク

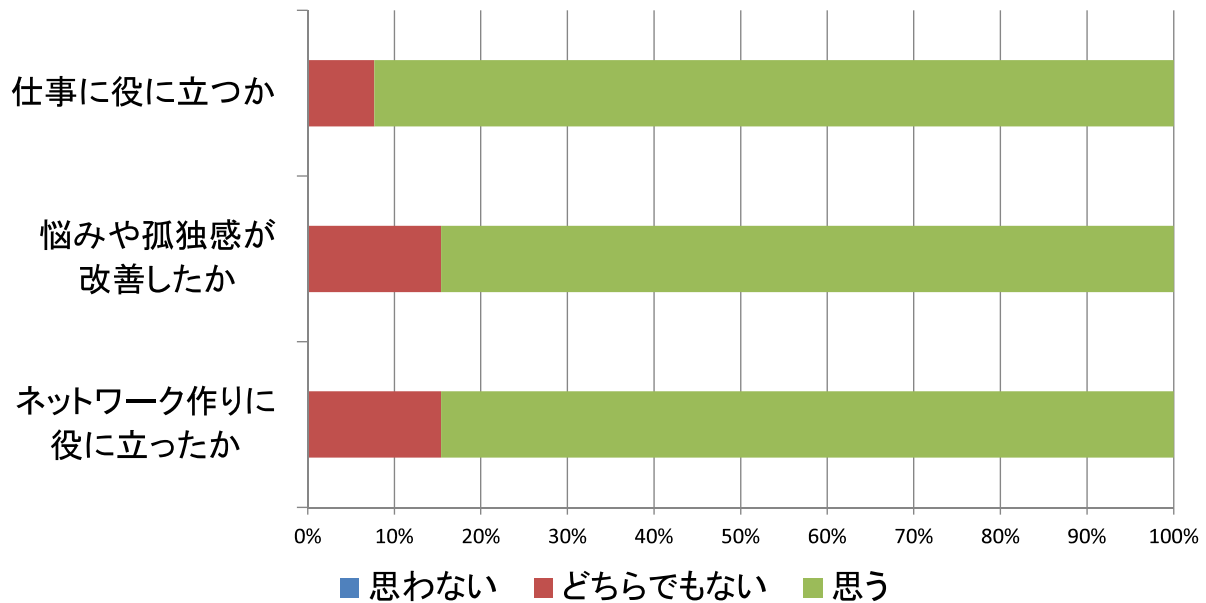
# 受講者アンケートから(満足度) n=39



# 受講後アンケートから (公衆衛生医師以外) n=26



# 受講後アンケートから (公衆衛生医師) n=13



## 運営側から感じること

- 回数を重ねるにつれて、参加者のレベルや興味も上がって(強くなって)きているように感じられる。
- 企画運営側も、参加することで自分も元気づけられる企画となっている。
- PHSSの参加者側から企画運営側となっているスタッフもいる。(私もその一人)

## まとめ

- 医学生や研修医・臨床医に公衆衛生医師をアピールする機会となっており、今後とも改善を加えながら企画していきたい。
  - 入職5年以内の公衆衛生医師(専攻医)の交流の場にもなっており、全国的なネットワークを構築することで、公衆衛生医師として勤務を継続する意欲につながると考えられる。  
(日本公衆衛生学会時の自由集会とも連携)
-